

# 武蔵野市百年史続編(仮称)編さん方針

武蔵野市百年史続編(仮称)編さん委員会

## 1. 編さんの目的

既刊『武蔵野市百年史』の後をうけ、土屋正忠・前市長が市長に就任した昭和 58 (1983) 年から平成 17 (2005) 年までの 22 年間に市内で起きた出来事を記録する。市政を中心に、この時代の武蔵野市がどのようなまちづくりをめざし、どう変化してきたかを浮き彫りにする。特に、武蔵野市独自の施策、全国に発信し、国政にも影響を与えた問題などは詳述し、市民が後々市政を振り返るときに役立つ、資料性の高い内容をめざす。

## 2. 編さんの基本方針

- (1) 各分野ごとの市政の流れを軸にすえ、計画立案の発端、経緯、その成果と問題点などを分かりやすく記述する。
- (2) 読みやすく編集する。
- (3) 正確さを旨とし、できる限り日付を特定する。
- (4) 資料性を重視する。

## 3. 編さんの内容

- (1) 記述編 (全 1 冊・約 1000 ページ)
  - ①概説、②市政の動向、③健康・福祉、④子ども・教育、⑤緑・環境、⑥市民生活、⑦都市基盤の整備
- (2) 資料編 (全 1 冊・約 1000 ページ)
- (3) 年表編 (全 1 冊・約 300 ページ)

## 4. 記述方法

- (1) 記述編本文は、たて書きとし、資料編および年表編については、よこ書きとする。
- (2) 平易な日常語を用い、読みやすいものにする。
- (3) 原則として「である」体を用い、敬語は使わない。
- (4) 漢字は常用漢字および人名用漢字を用いる。
- (5) 人名に敬称はつけない。
- (6) 音訓は「常用漢字表」の本表および別紙に定める範囲で用いる。
- (7) 仮名遣いは「現代仮名遣い」によることとし、原則として動物・植物の名前、外国の地名・人名、外来語、計量単位などはカタカナを用いる。
- (8) 記述編本文の数字は、漢数字を用いる。(資料編および年表編の数字は、算用数字を使用)ただし、名詞は別とする。
- (9) 難読語には、ふりがな(ルビ)を振る。
- (10) 送り仮名は内閣告示「送り仮名のつけ方」による。
- (11) 写真・図表・資料などを、必要に応じて適宜用いるが、その際、必ずキャプション(説明書)を添える。
- (12) 資料の引用は、原則として原文か書き下し文で。必要に応じて「解説」を加える。
- (13) 難しい用語に「注」をつける場合は、できるだけそのページ内に添付する。